

70周年記念事業として 西武園ゆうえんちのリニューアルを決定

森岡毅率いるマーケティング精鋭集団「株式会社刀」と協業
2021年の開業を目指します

西武鉄道株式会社
株式会社 刀

西武鉄道株式会社（本社：埼玉県所沢市、社長：若林 久、以下「西武鉄道」）は、株式会社 刀（本社：東京都港区、代表取締役 CEO 森岡 毅、以下「刀」）と協業し、2020年に開業70周年を迎える「西武園ゆうえんち」をリニューアルすることを決定しました。このリニューアルは開業70周年事業として取り組み、2021年の開業を目指しています。

西武園ゆうえんちは1950年に開業し、1988年度には年間約194万人ものお客さまにご来場いただくなど活況を呈していましたが、施設の老朽化や余暇の過ごし方の多様化、消費者ニーズの変化などを受け、徐々に入場者数が減少し、2018年度の年間入場者数は約49万人となっています。

西武鉄道は、西武園ゆうえんちのリニューアルを起点にこの状況を打破し、西武グループの各事業が連携して所沢を「訪れたい場所」に変え、埼玉を中心とした関東の活性化、ひいては日本の「観光大国」化に大きく貢献してまいります。

「刀」は「マーケティングで、日本を元気に」という大義の下、マーケティングの力で持続可能な事業をその地域に創り、日本を活性化する「地方創生」に取り組んでいます。西武園ゆうえんちのリニューアルプロジェクトは、刀の大義と一致し、当該地域の活性化に大きく貢献すると考えております。また、このプロジェクトの成功は同じ悩みを抱える全国のレジャー施設に再生・復活への大きな勇気となり、それが各地域経済の活性化の起点となって日本を元気にしていくと信じております。

この度の協業は、西武園ゆうえんちのリニューアルに賭ける両社の想いが合致したこと、そして、株式会社西武ホールディングス代表取締役社長・西武鉄道取締役会長 後藤高志が、その卓越したマーケティング・ノウハウと稀有な経験から「刀」代表取締役 CEO 森岡に寄せる信頼も大きく、森岡もまた後藤のリニューアルへの情熱に応えたいという想いも強いことから決定に至りました。すでに2年の年月をかけ、共に構想を練り込み、ブランド設計などを進めてまいりました。引き続き、西武園ゆうえんちリニューアルプロジェクトの成功に向けて、邁進してまいります。